平成１３年度当初予算　基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名]　（２０４）　中高年齢者雇用対策事業
[評価年月日]　　平成１２年１０月３１日
[主担当部課名]　　生活部雇用支援課
[記入課名・課長名・電話]　雇用支援課長 横山清

1　総合計画の政策体系上の位置づけ
政策：（　Ⅱ－２　）健やかな生活の確保
施策：（　２２１　）高齢者や障害者が活動できる環境づくり
総合計画の目標項目：65 歳までの継続雇用の普及率、シルバー人材センターの設置率
波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：高齢者、障害者の人権の尊重

2　基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）
高齢化の進行、年金支給開始年齢の引上げに伴い、働く意欲のある高年齢者は急速に増加しており、高年齢者の就業機会の確保が必要。また、高年齢者の多様な就業ニーズに対応した様々な形態の雇用就業の選択肢ができる環境整備が必要。

3　基本事務事業の目的と成果
3-(1)　対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）
健康で働く意欲のある高年齢者が、その知識、経験、技能等を活かして働くことができるよう、多様な形態の就業機会の確保を図る。

3-(2)　成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）
＊６５歳までの継続雇用の普及率
６５歳までの継続雇用実施企業数／５０人以上規模企業数
＊シルバー人材センターの普及率
シルバー人材センター等設置市町数／市町村数
②　変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3)　設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）
50 人以上規模企業の定年制、継続雇用制度の状況等の調査結果から 65 歳までの継続雇用制度の普及率の状況を知ることができる。また、シルバー人材センターは、60 歳以上の高年齢者を対象に臨時的かつ短期的な就業機会を提供する事業を行っており、この設置率により多様な形態の就業機会確保の度合いを知ることができる。

3-(4)　結果（施策における 2010 年度の目標）
６５歳までの継続雇用の普及率　１００%
シルバー人材センターの設置率　１００%

4　基本事務事業の評価
4-(1)　前年度（H11 年度）における基本事務事業の結果評価
①前年度に行った内容と成果
６５歳までの継続雇用制度導入推進を中心とした、企業訪問、高年齢者雇用促進大会の開催等による普及啓発活動を実施したが、継続雇用普及率で前年度比 2.6%のマイナスであっ

た。
　また、シルバー人材センターの発展・拡充のために、シルバー人材センター未設置町村に対して、研修会を開催し設置促進に努めた。結果、前年度比 4.4%のプラスとなった。
　さらに、旧失業対策事業からの引退者に軽易な就業の提供を行い、経験、技能を活かして働くことに成果があった。

②前年度に残った課題

　高年齢者雇用の必要性、重要性について事業主に理解は得られるが、賃金体系、労務管理等組織の根幹に関わる内容の変更を要するため、事業主への負担が大きく困難であった。
　シルバー人材センターの意義は理解されるが、農業・漁業従事者の多い地域など必要性の薄い町村があり、設置に至らない場合があった。

4-(2) 本年度（H12年度）における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

　65 歳までの継続雇用制度導入の普及啓発を中心とした企業団体訪問、高年齢者雇用促進大会の開催、高年齢者雇用優良企業知事表彰を実施。シルバー人材センター未設置町村に対し、設置・連合会加入促進研修会を実施。各指標のアップとともに、高年齢者の就業機会の増大が見込まれる。

②本年度残ると思われる課題

　高齢者雇用の必要性は理解されるが、急な企業組織の変更が伴っていかない。県民各層の共通課題としての認識の形成。

5　基本事務事業の改革方向

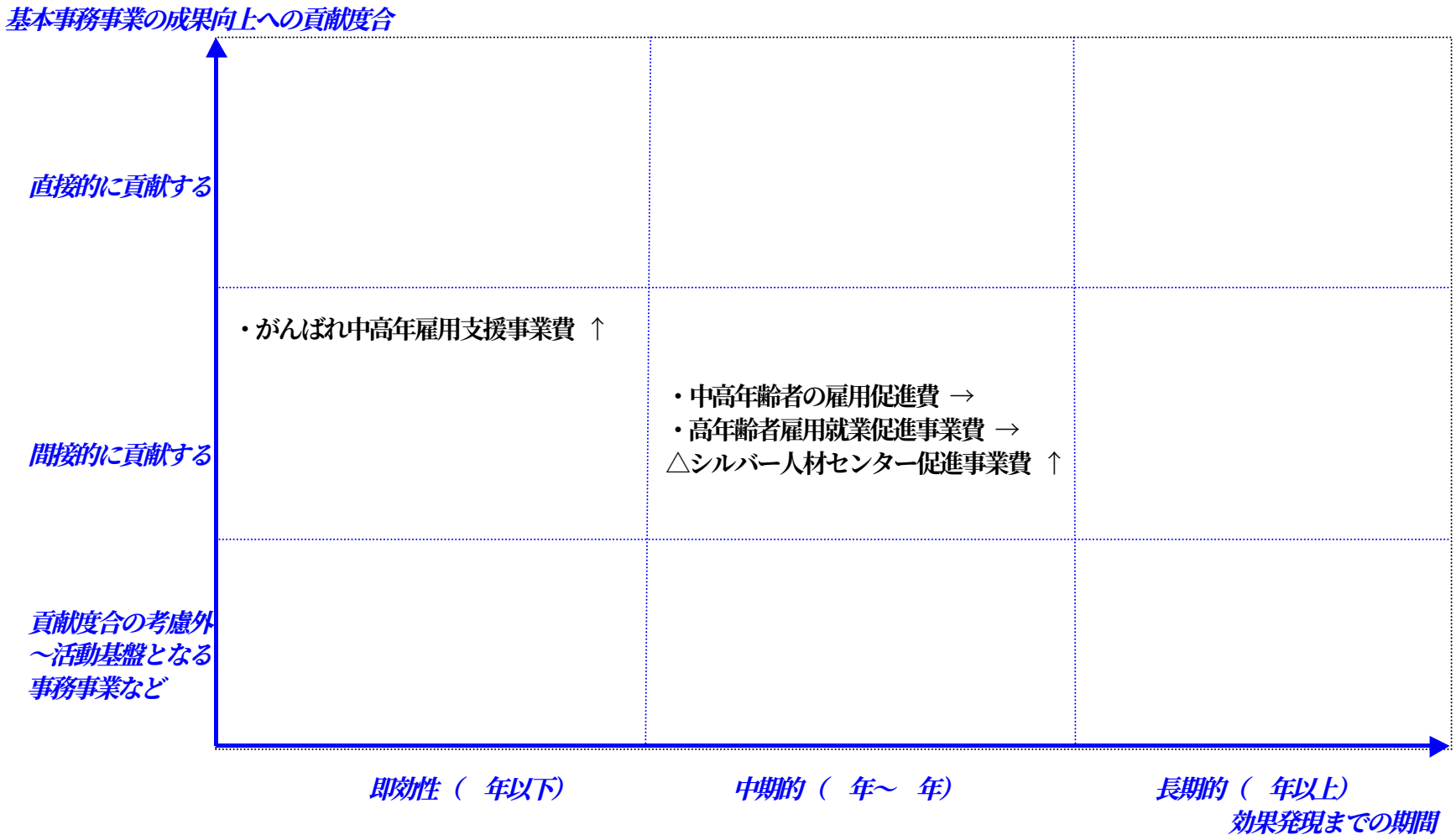
　人口のさらなるの高齢化、公的年金の支給開始年齢の段階的引上げにより、高年齢者の就業機会の確保増大が必要となり、また、その就業ニーズは多様化することが見込まれる。65 歳、までの継続雇用制度導入を中心とした高年齢者雇用の普及・啓発を引き続き実施し、事業主だけでなく、県民各層の共通課題として認識されるよう取り組む必要がある。

6　成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画目標数値	予算額等（千円） 所要時間（時間）	必要概算コスト（千円）
	目　標	実　績			
前々年度（H10年度）	継続　25% ｼﾙﾊﾞｰ 61%	継続 24.9% ｼﾙﾊﾞｰ 62%		82,405 6,340	108,907
前年度（H11年度）	継続　26% ｼﾙﾊﾞｰ 64%	継続 22.3% ｼﾙﾊﾞｰ 64%		69,385 9,493	108,542
本年度（H12年度）	継続　25% ｼﾙﾊﾞｰ 70%	継続 ｼﾙﾊﾞｰ		60,218 10,520	104,297
本年度補正後（H12年度）	継続　25% ｼﾙﾊﾞｰ 70%	継続 ｼﾙﾊﾞｰ		＋2,407 0	＋2,407
翌年度（H13年度）	継続 30% ｼﾙﾊﾞｰ70%	―――	継続 30% ｼﾙﾊﾞｰ70%	36,201 5,300	58,408
計画目標年次（H22　年度）	継続 100% ｼﾙﾊﾞｰ　100%	―――	継続 100% ｼﾙﾊﾞｰ 100%	―――	―――

7　翌年度（H13 年度）の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

＜必要概算コスト：　☆５億円以上　　◎～１億円　　◇～５千万　　△～１千万　　・１千万未満　　＊休止・廃止＞



※　各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8　基本事務事業を構成する事務事業の詳細

※　新規事務事業には、事務事業名に（新）を付す

事務事業名 （担当課）	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 （千円）	予算額 前年度比 （±千円）	13年度 所要時間 （時間）	所要時間 前年度比 （±時間）
中高年齢者の雇用促進費	推進員求人開拓率	雇用開発推進員を公共職業安定所に配置し、雇用の場の拡大を図るため、事業主に周知・啓発を実施する。	9,409	+220	265	+165
高年齢者雇用就業促進事業費	継続雇用普及率	高年齢者雇用促進大会の開催、高齢者雇用優良企業知事表彰を実施し普及・啓発を行う。	7,324	+6,399	1,060	+1,573
ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ促進事業費	ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ設置率	ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰに対して運営費補助し、事業の発展・拡充を図る。	17,922	+4,070	2,385	+136
（新)がんばれ中高年雇用支援事業費	求職者参加率	45歳以上の中高年齢者を対象に、その活用に積極的な業界と連携し、事業説明会及び面接会を実施する。	1,546	＋1,546	1,590	+1,590